

## 設置認可申請の注意点は?

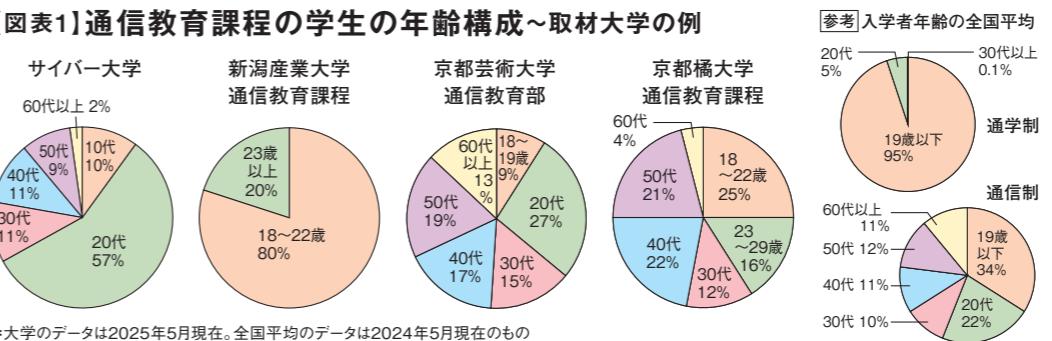
運営体制

「募集中の企画」

日本の大学には通信教育課程がまだ少なく、先行する大学も手探りで市場を切り開き、教育手法を模索してきた。

市場に光が当たり出した今、新たに通信教育課程を設置し、新市場に挑もうとする大学の疑問に答える。

図表1)通信教育課程の学生の年齢構成～取材大学の例



図表2]多様な学生を呼び込む通信制市場開拓に向けた7つの課題

課題	解決に向けたヒント
1 市場探し	▶潜在的な通信教育のマーケットは存在するものの、現状は、教育コンテンツの供給不足。市場開拓はまず、通信制で学べる新しいコンテンツの企画開発から▶顕在化し確実に受講生が見込める社会人市場も存在する(高卒・専門学校卒の社会人、国家資格取得や、資格取得後のキャリアアップ、他業種への転職のためのリカレントなど)▶自動翻訳化などで今後は渡日不要の海外市場も見込める▶不登校児童生徒の増加や多様な学び方ニーズの高まりにより、若年層の通信教育市場は拡大傾向に▶生涯学び続けるしくみをつくりやすいアルムナイ(同窓生)市場は未開拓
2 採算性 ～定員や学費の設定	▶学費の相場は通学制の1/4～1/5程度であるため、教育の質を担保したうえである程度の定員規模が必要。ただし、設置認可上、通信制であっても「学生確保の見通し」が厳しく求められるため、事前のマーケティング調査はしっかり行う▶大学既卒の社会人学生については、3年次編入学定員の設定がポイント▶社会人学生は履修が長期にわたる場合も多いため、長期履修でも学びやすい学費の設定の工夫を
3 設置認可申請の壁	▶通学制で学位が授与できる分野であっても、通信制では使うことはできないため、多くの場合は届出ではなく、設置認可申請が必要(通信制すでに授与している分野なら届出で可能)。通学制の教育との違いや、併設と独立開設の違いを押されたうえで計画、準備する▶通信制の設置認可申請では、「通信教育実施方法説明書」「通信教育に係る規程」の提出が求められることに注意▶近年、通信制でも「学生確保の見通し」が重視される。社会人も対象ならば、社会人向けの調査も別途必要▶今後さらに重視される、教育の質を意識した計画を
4 教職員の体制	▶多様で、かつ前の前にない学生への教育のため、通学制との安易な兼務では質が担保しにくい。特性を理解したうえでの組織人事を検討する▶通学制より手厚いサポートが必要なこともあり、担当教員だけでなく、チームで授業設計、運用する真の教職協働体制が重要▶教員については、可能なら通信制での独自採用や育成が望ましい
5 繼続率・修了率を高めるサポート体制	▶学び続ける動機を高めるカリキュラム設計を(「教育」よりも「人材育成」という視点から)▶関わる教職員が継続率、修了率を高めることにコミットするマネジメントを行う▶デジタル化で学修状況が把握しやすい点を生かした学生サポート体制の構築や教育改善を行う▶システムサポート、学生サポートなどのスタッフも必要▶大学や他の学生と双向方向のコミュニケーションを取れるしくみや場の設定
6 コンテンツ制作	▶通学制と同じ意識、感覚ではつくれない▶質の担保のためには、マニュアルやガイドラインを作成し、チームでコンテンツ制作を▶短時間で区切る、小テストを挟むなど、社会人の学習状況を考えた設計を▶動画のクオリティは昨今の高い水準を意識して工夫する
7 学生募集	▶募集広報はWebやSNSが主戦場だが、通学制より履修のしかたやその成果、どんな学生が学んでいるのかが外からは見えにくい。対面型のイベントに力を入れる大学も増えつつある▶社会人だけでなく若年層の入学も増加しているため、対象別の広報活動が望ましい▶国家資格系は、業界団体との連携も重要▶通信制だからこそ、その大学ならではの教育の特色が通学制以上に問われる

取材を基にBetween編集部にてまとめ

【図表3】定員と学費の例

大学	入学定員 (名)	編入学定員(名)			学費(初年次)	備考
		2年次	3年次	4年次		
サイバー大学	800	50	325	0	入学金:10万円 授業料:2.2万円／1単位 学籍管理料:2.4万円 システム利用料:3.2万円	一部科目で教材費や実習環境利用料が発生する場合あり
京都芸術大学 通信教育部	2,550	30	3,050	0	入学金:3万円 授業料:芸術教養学科17万円／文化コンテンツ創造学科34.8～35.5万円／芸術学科23.1万円／美術科・環境デザイン学科32.7万円	博物館学芸員課程受講希望の場合、芸術教養学科は25万円(スクーリング受講料含む)、芸術学科・美術科・環境デザイン学科は16万円の登録料が別途必要(スクーリング受講料別途必要)
京都橘大学 総合心理学部 通信教育課程	180	若干名	180	0	入学金:3万円 授業料:28万円(半期14万円)	教科書・ソフトウェアライセンス料等教材費は別途必要
京都橘大学 デジタルメディア学部 通信教育課程 *2026年度設置	180	0	180	0	入学金:3万円 授業料:32万円(半期16万円)	
新潟産業大学 経済学部 経済経営学科 通信教育課程	300	0	0	0	入学金:5万円 授業料:ベーシックコース 30万円 スタンダードコース 63万円 プレミアムコース 96万円 ほか複数のコースあり	いずれのコースも、授業料のうち、学位取得に向けた単位修得に関わる費用は30万円。5年次以降8年次までは、同費用はかからず、学籍管理料(年間4万円)のみかかる
千葉商科大学大学院 会計ファイナンス研究科 <sup>※1</sup>	70 <sup>※2</sup>	-	-	-	入学金:26万円 授業料:128万円(半期64万円)	※2 2026年度から入学定員を82名に増員
ZEN大学	3,500	-	-	-	入学金:3.6万円 授業料:38万円	

\*大学資料を基にBetween編集部にて作成  
※1 オンライン授業のみで修了可能なコースがあるが、通信教育課程ではない

ラムを設計。社会変化に応じてM-Cを新設し、在学中も、卒業後も、学び続ける動機をつくっている。

**Q. 学費や定員はどのように設定する?**

**A** 教育の質と採算のバランスを検討。編入市場も重要。

学部の場合、通信制の学費の相場は通学制の4分の1~5分の1。この手頃な学費が学生を集めやすくしている。とはいえ、通信制は設置校がまだ少ないため、「安価」であること以外にも学費の設定方法に工夫の余地はある。サイ

の士業のコースのオンライン授業を拡充することで、学生を集めている。新潟産業大学や、本年開学したZEN大学が多く受け入れるのは、「大学も通信制」を希望する全国の通信制高校生だ。海外も市場になり得る。京都橘大学や新潟産業大学には、ウズベキスタンなどの海外在住学生が在籍する。

社会人をターゲットにする場合、民間企業がライバルになる。大学にしかない資格講座は大きな強みだが、それ以外の課程をどう差別化するか。サイバー大学は、カリキュラムを設計。社会変化に応じてMCを新設し、在学中も、卒業後も、学び続ける動機をつくっている。

▲特に「学生確保の見通し調査」  
は通学制以上に工夫が必要。  
基本的には、<sup>1</sup>通学制の新設と  
そう変わりがないが、提出書類に  
追加があるなどの違いもある。通  
信制設置校はまだ少数のためノウ  
ハウがあまり共有されておらず、  
苦労したという声もあった。既設  
通学制と同じ学位の分野の通信制

## Q. 通信制ならではの設置認可の注意点は？

バー大学は、1単位2・2万円というユニークな学費設定。年数がかかっても総額が変わらないしくみは、社会人にとっては利便性が高い。新潟産業大学は、サポートや学外提携先での学びの種類によってコースを分け、それぞれに学費を設定している。

1人あたりの学費収入が少ない分、採算を取るには定員規模の大きさが重要だ。市場調査を行い、教育の質を保証できる学生数と採算のバランスを慎重に検討する必要がある。他大学を修了した編入学生が多い点も通信制の特徴で、特に3年次の編入市場が圧倒的だ。また、社会人には卒業まで何年もかかる学生もいる。多くの大学では一定の年数以降は学費を減額している。

# Q. 「新しい市場」はどう のように探せばよい？



高等教育企画課  
大学設置・評価室長  
**鈴木 宏幸**  
すずきひろゆき●2003  
年文部科学省入省。初等  
中等教育企画課長補  
佐、初等中等教育局視  
学官、在パラグアイ日本大  
使館一等書記官、文部科  
学大臣秘書官などを経  
て、2024年上り引退。

# 文科省に聞く!

# 通学制とどう違う? 通信制の設置と課題

## —通信教育課程設置の動向は?

設置件数はこれまで毎年、数件程度でしたが、コロナ禍をきっかけに大学にオンライン授業のノウハウが蓄積されたせいか、2025年度は12件、2026年度は11件と増加しています。現状、既存の通信制はすべて私立大学のみとなっています。

## — 設置基準上の通学制との違いは?

「大学、短大における通信教育」の設置基準があり、通学制との主な違いは、授業方法、基幹教員数、校地・校舎の基準です【図表4】。かつて面接授業以外の主な授業方法は、「印刷教材等」と「放送」でしたが、2001年、オンラインを想定した「遠隔授業（メディアを利用して行う授業）」が加わりました。面接授業（対面授業）に相当する教育効果が得られることが条件で、同時性または、授業後速やかに設問回答、添削指導、質疑応答など、即応性をもつ双方向性が求められます<sup>\*1</sup>。同じく2001年から対面授業なしのカリキュラムも認められ、フルオンラインでの課程が可能になりました。大学院も1998年から通信制が制度化されましたが、設置基準は大学や短大と異なり、大学院設置基準内で定めています。

## — 通信制の設置認可申請のポイントは?

通信制には、通学制との「併設型」と、独立した通信制を設置する「独立型」があります。必要な基幹教員数等に違いがあり、独立型には独自の規定がありますが、併設型は、通学制で定められた基幹教員数に規定の人数<sup>\*2</sup>を追加する形です。通学制と通信制を兼務する基幹教員は、申請時にどちらかに所属を割り振ることになります。併設型の通学・通信同時開設の場合、授与する学位が同じだとしても、通学制と通信制それぞれにおいて大学が授与する学位の分野に変更が生じる場合、それぞれ認可申請が必要です【図表5】。既存の通学制と同じ学位、同じカリキュラムの通信制を後から併設する場合、通信制において学位の分野に変更を伴わない場合は届出、伴う場合は認可申請となります。カリキュラムが「同等」と言えるかどうかは、大学設置分科会において判断されます。

## —審査の観点の違いは？

## 【図表7】令和9年度開設用「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引」の通信制に関する主な変更点

単位認定試験等における不正行為防止対策について	「通信教育を実施する場合の具体的計画」の項において、単位認定試験等における不正行為防止対策について説明を求めるよう追記。
情報セキュリティ体制の整備について	「通信教育を実施する場合の具体的計画」の項において、安定的・継続的な授業の実施や学生の個人情報の管理等のための情報セキュリティ体制について説明を求めるよう追記。
通信教育を併せ行う場合の教育研究実施組織の編制について	通学制との併設型の場合、実施する教育研究の内容・方法や収容定員の規模等を踏まえ、十分な組織を編制していることを具体的に説明し、教員負担の増加に対する配慮について説明を求めるよう追記。

\*文部科学省資料を基にBetween編集部にて作成

\*1 行われない場合は「放送授業」になる。

\*2 通信制の収容定員4,000人につき、通学制の人数に4人追加。【図表4】の「基幹教員数」参照

図表4] 通信教育設置基準上の通学制との主な違いと授業方法の定義

### 通信制の授業方法の定義

通信教育設置基準の有無	大学、短大はあり。大学院はなく、大学院設置基準(第9章第25～30条)、専門職大学院設置基準(第3章第9条)で規定
専攻分野	通信教育によって十分な教育効果が得られる専攻分野
授業方法	面接授業を全く行わなくても可能(印刷教材等による授業、放送授業、メディアを利用して行う授業のいずれかまたはこれらの併用)
基幹教員数	併設型:収容定員4千人につき4人増加／独立型:別表1に定めた通信制用の規定人數以上 ※併設の場合、増加人數が必要な基幹教員数の2割未満の場合は、2割の教員数の増加が必要
校地	面積についての具体的基準なし(教育に支障のないもの)
校舎	必要かつ面積基準もある。ただし、教育研究に支障ない場合はその限りではない

大学通信教育設置基準を基にBetween編集部にて作成。下線は編集部によるもの

図表6]通信制ならではの  
学生確保の見通し調査」の課題例

□対象者(高校生)の選定	現状、通学制高校では通信制への入学意向が取りにくい。通信制高校では生徒があまり登校しないので留置調査が難しい。
□社会人向け調査では入学希望時期も求められる	社会人の入学も想定している場合、別途調査が必要。2028年度開設分より、社会人が回答者の場合は「入学希望時期」もクロス集計することが求められているので要注意。
□通信制ならではの設問設計の工夫	通信制ならではの入学と編入学の区別など、手引きのとおりに調査票をつくれないケースもあるので、柔軟な設計が求められる。
□募集上の地域の壁がないことへの対応	通信制は地域の壁がない分、市場は大きいが、一方で「家から通いやすい」などの志望理由が見つけにくい。教育の特徴や具体的な進学メリットを明確に伝えたうえで調査することが重要に。
□入学定員規模が大きい場合の数の集めにくさ	通学制に比べて定員規模が大きいことが多く、その規模の入学意向者を集めることは容易ではない。

取材を基に日本文化編集部にてまとめ

## 【図表5】通信教育課程設置ならではの提出書類 「通信教育実施方法説明書（別記様式第8号）」

作成単位	▶学科ごとに作成
通信教育学部のみの大学	▶インターネット等を利用して教室以外の場所のみでの履修の場合は、備考欄で、インターネット授業の特性を踏まえた授業設計や措置を講じ教育研究に支障がないことを、教育効果を高めるための措置や学生支援方法に触れながら具体的に説明する必要あり
通信教育を開設する学部等の計画	▶授業方法区別に、単位数や卒業または修了に必要な単位数を記入 ▶基幹教員、事務職員等教員やその他職種は通信専任、通学兼務の数を分けて記入
指導補助者	▶職員以外で設問回答、添削指導、質疑応答等の補助、教育相談等を職務とする者で、名称は問わない(大学設置基準第8条第3項規定の「指導補助者」とは別)▶名称、役割、採用条件、研修方法の詳細を記入
通信教育実施方法	▶授業方法区別に記入▶メディア利用授業:「利用する技術の特色」には教材作成及び更新の方針等概要、「同時双方向性の確保」には「一體的に扱うことのできる情報の種類及び同時双方向性の程度、毎回の授業での指導及び学生の意見交換機会等の方法、「学修過程の管理方法」には、出席確認、学修時間確保の方法、添削等による指導の機会や方法の概要を記入▶面接授業:実施期間、実施施設名称・所在地、1日の授業時間と日数等を記入

## 「通信教育に係る規程」

初めて開設する	▶規程案を全文添付
学部等を追加で設置する	▶規程案のほか、変更事項記載書類と新旧対照表添付

本文部科学省資料に基づくNature編集部にて作成

を設置する場合でも、通信制において学位の分野に変更を伴う場合は設置認可申請が必要なので、多くの大学は設置認可申請から始めることになるだろう。設置基準や最新の「手引」をよく読み、通信制ならではのルール【図表4、5】を理解して申請に臨みたい。なお、「手引」は毎年変更があり、最新の2027年度開設の場合、通信制についての変更点がいくつかある【図表7】。近年は通学制同様、通信制に関しても定員充足ができるかどうかが厳しく問われる。中でも「学生確保の見通し調査」は、通信制ならではのさまざまな課題があるようだ【図表6】。

1 P.18~21、高崎商科大学の「少子化時代を支える新たな私立大学等の経営改革支援|選定例を参照

【図表9】通信教育用授業コンテンツ制作の工夫例

大学	マニュアル、ガイドライン等	撮影スタジオ	スタッフ	質向上の工夫例
サイバー大学	あり。1章15分の4章構成。毎回課題(小テスト/レポート/ディベートのいずれか)に取り組む。投影資料はテンプレートにて枚数や文字サイズ等を指定。	あり。ただし、今は教員が自宅で撮影することも多い。AIを活用した音声の修正やアバターの活用で、教員の負担減に取り組む。	担当教員+同分野の教員、インストラクションデザイナー(授業制作の専門スタッフ)含め3、4人/科目で制作。	▶オープンバッジで修得能力のマイクロクレデンシャルを授与。学び続ける動機付けへ。▶独自LMSで全学習行動をデータ化、分析し、授業改善を教員に提案。
京都芸術大学 通信教育部	あり。授業配信や出席管理等のマニュアル。特に、授業内で扱う作品の権利処理については詳細に定めている。	あり。あるコースは、TV局のプロデュースを受けスタジオ撮影。学科・コースによっては、教員が教室を配信用にレイアウト。	通信教育課程専用の制作スタジオを整備し、専門的な機材と4人のスタッフを配置している。	▶映像の質にこだわる。例えば、全コースで受講できる「芸術史講義」は、「日曜美術館」などの番組を制作する(株)NHKエデュケーションと、約1800本を共同制作。
京都橋大学 通信教育課程	あり。スライドはPowerPointで作成、15分に1回理解度チェックを挟む等。	あり(教室で収録する授業もあり)。	(株)デジタル・ナレッジが、授業の撮影、編集、教材開発等を支援。通信制の職員は専任13人、業務委託2人。	▶初期は通学制の対面授業を撮影して通信制で提供。しかし、通信制での学習スタイルを考慮し、現在は通信制用授業を別途撮影している。
新潟産業大学 経済学部 経済経営学科 通信教育課程	あり。全教員が、授業収録開始前に職員と面談。教育目標、担当科目の位置付け等の認識を共有。	あり。通学制のキャンパス内の教室に専用撮影スタジオを設置し、専門スタッフと連携し授業収録を行なう。	全国に通信制高校を展開する企業の社員が、高校で培ったノウハウを生かし、授業撮影をサポート。	▶多様な学生がいることから、基本の授業はわかりやすくしたうえで、一部の科目では学びを深めたい上位層向けにチャレンジ課題(発展的な課題)を設定している。

\*取材、各大学資料を基にBetween編集部にてまとめ

【図表10】学修効果を上げる工夫例

大学	双方向性の担保	サポート体制	成果例
サイバー大学	▶独自開発のLMS内の非同期型の議論やプレゼン、ビアレビューによりアクティブ・ラーニングを実現。 ▶Zoomでの学生交流会。	▶4つのサポートセンターで入学から卒業までを支える。 ▶学生からの質問は原則24時間以内に回答。 ▶受講が滞る学生をTA・LA・コーチがフォロー。 ▶「学生個人カルテ」を面談に活用。	▶入学から2学期目の履修継続率90.2%。 ▶24歳以下の卒業生の就職率93.3%。 ▶学生サポート満足度84.8%。
京都芸術大学 通信教育部	▶Zoom等による同時双方向型のオンライン授業を実施。 ▶学習用Webサイト「airU」内に、学生同士でコミュニケーションが取れる掲示板機能あり。	▶学生の自主性重視。ただし、1年次に1単位以上の取得や、2年次への進級を促すメールを送ることはある。 ▶スクーリング科目「オンライン授業入門」、就活関連の授業等を提供。	▶平均学習継続率84.3%(2018~2022年度)。 ▶2025年度の学生数は17,611人。
京都橋大学 通信教育課程	▶学習システム「echool campus」で担当教員に質問できる。 ▶週末中心のオンラインスクーリングもあり。	▶修了、卒業を重視。 ▶「学習講師」を配置し、学生からの質問や相談を受ける。 ▶学生からの質問に対応するAIチャットボットを導入。 ▶「レポートの書き方」などもメディア授業で丁寧に説明。	▶授業アンケートは高評価。理解しやすい、学びやすいとの声多数。 ▶学生数は2019年度883人→2025年度1,611人。
新潟産業大学 経済学部 経済経営学科 通信教育課程	▶科目ごとのSlackチャネルで、教員と学生が対話。 ▶一部のコースで設置している「オンラインクラス」では、授業時間に待機しているスタッフにその場で質問ができる。	▶退学や休学の相談が届いた際は、必ずオンライン面談を実施。 ▶学びながらスポーツ選手として活躍したり、企業に勤めながら地域おこしをしたりする学生がいる。	▶学生同士のコミュニケーションが活性化。 ▶学びながらスポーツ選手として活躍したり、企業に勤めながら地域おこしをしたりする学生がいる。
千葉商科大学 会計ファイナンス 研究科	▶オンライン授業の9割がリアルタイム。 ▶オンライン授業だけで修了できるカリキュラムにおいても、来校必須日を設けている。	▶計10人の職員を、研究科ごと3チームに編成。チームごとに入試、授業運営、成績判定、就職希望者へのアプローチなど、入り口から出口まで学生をサポートする。	▶オンライン授業拡充後、卒業率は上昇、留年者数は減少傾向。

\*取材、各大学資料を基にBetween編集部にてまとめ

京都芸術大学は、学問の特性上、映像の質に徹底的にこだわり、テレビ局等、映像のプロと提携している。新潟産業大学では、通信制高校運営企業のサポートのもと、職員が教員と科目の位置付け等の擦り合わせと資料の確認を実施。上位層向けには別課題も提供するなど、レバーベル別対応も行なう。学修姿勢が確立していない若年層が増えており、近年の通信制では、授業の双方向性やサポート体制の重要性が高まっている【図表10】。多くの大学にはWeb会議システム、学生、キヤリアの4つの手厚いサポート体制も特徴だ。複数の学生が同時に授業を受けているのがサイバー大学。授業システム、学生、キヤリアの4つの手厚いサポート体制も特徴だ。新潟産業大学は一部のコースに、新潟産業大学は、A-Iチャットのサポートに加え6人の「学習講師」を配置し、学習に関する質問や相談を受け付ける。こうした通信制の施策は、通学

【図表8】「知の総和」答申で言及された、通信教育や社会人学生等に関する具体的方策(抜粋)

1. 今後の高等教育の目標すべき姿(5)高等教育政策の目的	①「質」について	社会人や外国人留学生を含め、多様な価値観を持つ多様な人材が学び合う環境を確保することが必要である。
	②「規模」について	18歳人口の減少という少子化の状況を踏まえつつ、「知の総和」を実現するための適切な高等教育が行われるよう、全体の規模の適正化を図っていくことが必要である。その際、社会人や外国人留学生に關しても、引き続き受け入れを促進することが重要である。
	③「アクセス」について	性別や居住地、家庭背景の違いによって高等教育機関への進学率が異なるという現状があり、格差の固定化を防ぐ観点からも、意欲のある者が進学をあきらめない社会の実現を目指す必要がある。
	①学修者本位の教育の更なる推進	ア.学びの質を高めるための教育内容・方法の改善 ・遠隔・オンライン教育を活用した、同一地域内や他地域、海外との大学間連携による授業の共有化などの取組を、質の確保を前提とした上で促進する。
	イ.新たな質保証・向上システムの構築	○大学設置基準及び設置認可審査等の見直し ・社会的な必要性や持続可能で質の高い学修環境・研究環境であるかという視点をこれまで以上に重視することとし、通信教育課程を含め、基幹教員の配置に係る基準や指導補助者の基準等について制度改善を行う。
	ア.多様な学生の受け入れ推進	○キャンパスのダイバーシティを支える環境整備 ・留学生、社会人、女性学生等のキャンパスのダイバーシティを支える環境の整備のために施設整備に対する支援を行う。
	ウ.社会人の学びの場の拡大	○社会人が学びやすい教育環境の整備 ・国において、社会人や産業界にとって魅力的な教育を行なうためのニーズ調査を実施し、その結果を踏まえ、各高等教育機関が産業界と連携して教育プログラムの開発等を行うための体制整備への支援を行う。 ・各高等教育機関において、リカレント教育を担当する教員へのインセンティブの付与がなされるよう大学等に積極的に呼びかけを行う。 ・社会人の主体的リカレント教育・リスキリングを推進するために、教育訓練給付制度や人材開発支援助成金等の支援策の情報発信を図る。 ○高等教育機関と産業界・地方公共団体等との組織レベルでの連携推進 ・企業の成長に直結し、かつ高等教育機関にいかできないことを目指した産学協働体制によるリカレント教育モデルの構築を支援する。 ・中小企業の社員や経営者を念頭に置いた、地方創生・地域産業の発展に資するリカレント教育プラットフォームの構築を支援する。 ・地域の社会人と学生が共に学ぶキャンパスの実現や地方公共団体や産業界との共創拠点の整備の充実、地域と連携した地域産業振興・スタートアップ創出のための拠点整備のために施設整備に対する支援を行う。
	エ.通信教育課程の質の向上	○時代の変化を踏まえた通信教育課程の在り方の見直し ・通信教育課程の特色等を踏まえた教学マネジメントの確立、学生の多様な属性等に対応したきめ細かな教育支援体制の構築促進や情報公表を更に促進するために、大学通信教育に関する実態調査を行い、通信教育課程の更なる質の向上のための制度改善や学生への支援の見直しに向けた検討等を行う。 ・放送大学において、多様なメディアを活用した、より効果的な次世代遠隔高等教育モデルの開発や他大学への普及展開を図る。また、放送大学と私立大学通信教育との連携を推進する。
	③大学院教育の改革	○多様な進学者の受け入れ促進 ・リカレント教育・リスキリングを望む社会人や産業界、地域のニーズを踏まえ、企業や地方公共団体等と必要な人材像や求めるプログラム、オンライン授業の活用方策等について議論する場を設け、継続的なリカレント教育・リスキリングの実施に向けた支援を行う。 ・意欲と能力(博士については研究実績を含む)のある社会人が1年で修士や博士の学位取得を可能とするため、早期修了制度の積極的な導入を推進する。 ・社会人の主体的リカレント教育・リスキリングを推進するために、教育訓練給付制度や人材開発支援助成金等の支援策の情報発信を図る。【再掲】
2. 今後の高等教育政策の方向性と具体的方策(1)教育研究の「質」の更なる高度化	①高等教育全体の「規模」の適正化	○意欲的な教育・経営改革を行うための支援 ・一定の学士課程定員の規模縮小をしつつ、質の向上と運動して規模縮小を実施する大学、収容定員・資源を学部から大学院へシフトする大学、質を確保した上で留学生や社会人を増加する大学等に対する支援を行う。 ・産業界や社会人のニーズを踏まえ、各高等教育機関における教育改善を促進するために、リカレント教育プログラム開発・評価の体制整備を支援する。 ○高等教育機関間の連携の推進 ・遠隔教育の課題と利点を踏まえた遠隔教育の質の保証・向上を図るとともに、対面授業と遠隔授業を効率的に組み合わせたハイブリッド型教育の充実等を促進する。【再掲】
(3)高等教育への「アクセス」確保	①地理的観点からのアクセス確保	○学士課程の規模縮小を進める大学への支援 ・一定の学士課程定員の規模縮小をしつつ、質の向上と運動して規模縮小を実施する大学、収容定員・資源を学部から大学院へシフトする大学、質を確保した上で留学生や社会人を増加する大学等に対する支援を行う。【再掲】 ○遠隔・オンライン教育の推進 ・遠隔教育の課題と利点を踏まえた遠隔教育の質の保証・向上を図るとともに、対面授業と遠隔授業を効率的に組み合わせたハイブリッド型教育の充実等を促進する。【再掲】 ・遠隔・オンライン教育を活用した、同一地域内や他地域、海外との大学間連携による授業の共有化などの取組を、質の確保を図る前提とした上で促進する。【再掲】 ・放送大学において、多様なメディアを活用した、より効果的な次世代遠隔高等教育モデルの開発や他大学への普及展開を図る。また、放送大学と私立大学通信教育との連携を推進する。【再掲】

\*文部科学省中央教育審議会「我が国の『知の総和』向上の未来像～高等教育システムの再構築～(答申)」(2025年)。赤字は編集部

**A. 組織・チームによる映像授業制作の工夫を【図表9】にまとめた。大学として授業の質を保つための詳細なルールやマニュアルを用意し、職員や専門スタッフと共にチームで制作するなど体制とされた。オンラインマッチング配信用の映像制作とサポート体制で修了率向上。今回、取材した大学では、継続して修了率、就職率などを目標に掲げ、教育の質向上と学生サポートに尽力している。まず、授業の質だ。オンラインマッチング配信用の映像制作とサポート体制で修了率向上。**

**Q. 通信制における教育の質向上策は?**

京都芸術大学は、学問の特性上、映像の質に徹底的にこだわり、テレビ局等、映像のプロと提携して授業の双方向性やサポート体制の重要性が高まっている。新潟産業大学では、通信制高校運営企業のサポートのもと、職員が教員と科目の位置付け等の擦り合わせと資料の確認を実施。上位層向けには別課題も提供するなど、レバーベル別対応も行なう。京都芸術大学では、担当教員と他の教員の録画機能を使って制作したり、A-Iで音声を修正したりするなど、テクノロジーの活用が進む。

京都芸術大学では、A-Iチャットのサポートを受け付ける。京都橋大学は、A-Iチャットのサポートに加え6人の「学習講師」を配置し、学習に関する質問や相談を受け付ける。こうした通信制の施策は、通学

【図表12】通信制で多様な学生を呼び込むための「学生募集7つのポイント」

①	偏差値はない。 教育力で勝負	通信制は学力試験入試を課さないことが多いため、入試偏差値の序列の枠外。学生の多くは学ぶ目的が明確で、それが達成できそうかで大学を選ぶ。よって、教育力や利便性の高さが募集上の一一番の武器になる例)広告ではなく、独自の学習システムとカリキュラムで学生を集めてきた。学生の利便性を考えスマホやタブレットでスキマ時間に受講を進められるようにしたところ、社会人学生が激増(サイバー大学)
②	確実にニーズが見込める市場を特定化	一見、茫洋としている社会人市場だが、自学の強みが確実に生かせる市場はないか、解像度を高くしたマーケティングを 例)人材需要が高まっている職務直結型の士業(税理士、公認会計士、中小企業診断士)に特化(千葉商科大学大学院)／国家資格化を見込んで開設した公認心理師の通信教育課程は、国資化後は、積極的に広報しなくても定員を充足している(京都橋大学)／高卒者の多い地方中小企業のリスクリング需要に応えている(サイバー大学)
③	若年層の市場拡大への対応	通信制高校市場の拡大や、コロナ禍を契機としたオンライン教育需要拡大から、若年層の通信制大学入学者が増加、今後も拡大の見込み 例)グループ内の通信制高校の生徒が安心して進学できる大学として通信制を設置(新潟産業大学)／入学者の最終学歴が高校・高専59%、N高校、S高校出身者42%(ZEN大学)
④	門戸は広く開く	人々、教育の機会均等の手段として始まった通信制。「学ぶ意欲」さえあれば誰でも学ぶことができる機会を提供することそのものが特色になる 例)会計ファイナンス研究科において、ターゲットに訴求できていることの一つは、他大学院では資格取得者や特定の学部卒等諸条件を付している事が多い中、「初学者でも出願・入学可能で、修了まで導ける教育を提供している」こと。これらを徹底した結果、募集は好調(千葉商科大学大学院)
⑤	デジタルマーケティングが基本	通信制を選ぶ層は目的や条件が明確にある。その条件でWeb検索した時に、トップに出るかどうか。セグメント別のコミュニケーションも有効 例)デジタルマーケティングが基本。ターゲットを若年層、シニア層といった年齢、職業の有無等でセグメントして、コミュニケーションを設計し、メールマガジンやSNSを使い分け広報(京都芸術大学)
⑥	通信だからこそ、学びのお試し体験を	通信教育の実態は外から見えにくい。だからこそ公式サイトで入学後の学びが体験できるトライアル制度を設けるとよい 例)サイト上でいつでも「体験授業」動画を視聴可能なほか、学びのしくみやサポート体制、カリキュラム、学修成果などの情報を積極的に公表(サイバー大学)／通信教育部の「22の学び」を自宅で体験できる申込制のオンライン授業開講、Zoomにて各コースのワークショップを体験可能(京都芸術大学)
⑦	対面のオープンキャンパスや個別相談も有効	どんな学生が学んでいるかが見えにくいため、オンライン説明会に加え、在学生が参加する対面型のオープンキャンパスが人気で、入学率も高い 例)現役学生と会える出張オープンキャンパスが人気。特に若年層には好評で保護者同伴で参加。中には家族で入学するケースも(サイバー大学)／全国で行われる合同入学説明会に参加。職員との個別相談会を開催(京都芸術大学)／東京、大阪の事務所で個別相談会を随時実施(ZEN大学)

\*取材を基にBetween編集部にてまとめ。ZEN大学については、本誌2025年No.316で紹介している

【図表11】多様な学生の学びを支える通信教育課程の運営体制の工夫例

専用の組織体制構築	▶専任職員は57人(教務部12人、学生部9人、広報部10人、メディア開発部7人、システム部19人)で、4000人弱の学生を支える(サイバー大学) ▶教員組織も事務組織も通学制とは独立した別組織で運営。教職員に過度な負担を強いることなく、通学制とは異なる多様な学生の学びを支える。職員数は41人(事務局長ほか、教務課6人、教学運営21人、学務課5人、アドミッション・オフィス8人)、通学制に引けを取らない事務体制(京都芸術大学) ▶大学として本腰を入れて通信教育に取り組むため、かつ、通学制とは異なる学生、教育法のため、事務組織は、教学部による運営を改め、企画部で担う運営に変更。専任職員13人+業務委託2人(教務5人、システムサポート常駐2人、学生サポート3人、入試広報4人)。教員のマネジメントについては、通学通信同時開設により、最初から両方の教育を担う形でマネジメントを工夫(京都橋大学) ▶民間企業と連携して運営。授業収録支援、学生サポート支援、実習等の連携先開拓と運営、通学場所の提供等を企業が担当(新潟産業大学) ▶通信教育課程ではないが、大学院全体で職員数合計10人、研究科ごとに3チーム編成。各チームとも入学定員達成を目標に、入試、授業運営、成績・修了判定、就職支援まで担う。横串を刺す形で学生募集など共通の課題に取り組む(千葉商科大学)
チームで取り組む	▶授業設計・評価分析、改善までを担う「インストラクションナルデザイン課」を設置。授業コンテンツづくりはチームで行う。教員はコンテンツの最も重要な要素だが、一部でしかない。1科目を同分野の教員、職員も含め3、4人で作成(サイバー大学) ▶映像授業収録の際、教員は事前に必ず職員と内容を確認させる。授業スライドも事前に職員がチェックする(新潟産業大学)
採用・育成の工夫	▶社会人教育の経験やPCでの教育スキルなど、通信制ならではのコンピテンシーがあることなどから、通信教育課程として教員を採用(京都芸術大学) ▶通信教育課程は学生の属性が多様であるため、その特性を理解し、さらにWebなどを経由したコミュニケーションやメディア授業にも対応できる専任の教員を配置することが望ましい。こうした新しい形態の通信教育現場にふさわしい教員の育成や採用も重要(サイバー大学) ▶役職別に必須の研修を設けるほか、職員の自主的な学び直しを奨励。経営大学院や民間のリスクリングプログラムの受講に対し、補助金を供出して支援している(千葉商科大学)
学外との連携	▶広域通信制高校を運営する(株)ウィザスと一体的に運営。同社が運営する高校および自学の附属高校通信制課程(3年間)と、自学(4年間)で施設や学修者情報等を共有し、7年一貫教育の実現をめざす。また、専門学校や教育サービス提供企業と連携し、学びのバリエーションを拡大(新潟産業大学) ▶(株)NHKエデュケーション、(株)フジテレビジョンなど、映像、芸術、文化にたけた企業と連携し、映像授業の質を高める(京都芸術大学) ▶通信教育課程を持つ大学は、科目数のスリム化を図りたい通学制大学の連携先になり得る。協定を結べば、通学制大学の学生が通信制大学の科目を履修して自学の単位とすることが可能(私立大学通信教育協会 高橋理事長)

\*取材を基にBetween編集部にてまとめ

## Q. 運営組織体制構築のポイントは?

A. 本格的に取り組むのなら通学運営体制は通信制の成否を大いに左右する。既存の通学課程に後から通信制を併設する際、兼務による負担増から教員の協力を得にくいことが多い。通学制とは学事負担は小さくないようだ。取材大

学の多くは別組織で運営している。運営体制は通信制の成否を大いに左右する。既存の通学課程に後から通信制を併設する際、兼務による負担増から教員の協力を得にくいことが多い。通学制とは学事負担は小さくないようだ。取材大

学の多くは別組織で運営している。

運営体制は通信制の成否を大いに左右する。既存の通学課程に後

から通信制を併設する際、兼務

による負担増から教員の協力を得

にくいことが多い。通学制とは

学事負担は小さくないようだ。

取材大

学の多くは別組織で運営している。

運営体制は通信制の成否を大いに左右する。既存の通学課程に後

から通信制を併設する際、兼務

による負担増から教員の協力を得

にくいことが多い。通学制とは

学事負担は小さくないようだ。

取材大

学の多くは別組織で運営している。

運営体制は通信制の成否を大いに左右する。既存の通学課程に後

から通信制を併設する際、兼務

による負担増から教員の協力を得

にくいが多い。通学制とは

学事負担は小さくないようだ。

取材大